



4年間の大学生活の中で、講義や実習、行事を通して多くのことを学ぶことができました。その中で苦楽を共にできる友人や周りの方々の存在が一番の支えになりました。

これからは、自分が誰かを支えていけるような医療従事者になれるよう努力していきたいです。

卒業後の私たちの進む道はそれぞれ違いますが、本学で過ごした4年間の経験を忘れずに頑張っていきたいと思います。みんなが充実した毎日を送れるよう祈っています。

臨床検査学科4年 中岡 はるか



不安と緊張で本学の門をくぐった入学の頃から、この4年間を乗り切れたのは、切磋琢磨できる友と素晴らしい先生方に囲まれていたからだと思います。時には、実習や課題で多忙となり辛い時期もありましたが、担当させていただいた患者様からの言葉に励まされ、看護にやりがいを感じた日々を忘れません。

卒業後に進む道はそれぞれに異なりますが、仲間が各々の場で頑張っていることを励みに成長していきたいと思っています。

看護学科4年 小野 翔子



## 橄欖祭(大学祭)

平成27年10月17日(土)

[橄欖祭実行委員長] 看護学科2年 安田 捺貴

第16回橄欖祭のテーマは「和」でした。このテーマには、学生個々の力を合わせて協力し合おうという意味が込められていました。

このテーマのもと実行委員を中心に話し合いや準備を重ね、当日の大学祭を成功させることができました。

大学祭の準備は想像以上に大変でした。しかし、2年の実行委員リーダーをはじめ、様々な人に助けられ無事に開催することができました。

橄欖祭に関わってくださった全ての方々に心から感謝申し上げます。



## 臨地実習

### 公衆衛生看護学実習

看護学科4年 石本 彩

私は小豆島町で4週間実習を行い、家庭訪問や健康教育を体験し、対象者や地域の特性を理解することの大切さを学びました。

また、地域の方々と保健師さんの関係性から信頼関係をつくる大切さや、住民と共に活動する保健師の魅力を感じ、実習を通して保健師になりたいという思いが強くなりました。

実習の経験を活かして頑張りたいです。



### 地域連携看護学実習

看護学科4年 薦田 望

地域連携看護学実習では外来看護を中心に実習を行い、地域包括ケアシステムの中での看護師の役割を学びました。

情報の提供、セルフケア行動獲得のための支援、多職種との連携を行いながら、地域で疾患を抱えながら生活を送る方への支援方法を知り、患者の生活と治療を支援するという視点から病棟実習では見えなかった看護まで深めることができました。



公衆衛生看護学実習風景



## サイエンスキャンプ

平成27年8月29日(土)

臨床検査学科 准教授 行正 信康

2000年以降、科学分野の日本人ノーベル賞受賞者は16名にのぼり、高校生の先端科学への関心は高まる傾向です。

本学は生命科学を体験する機会としてサイエンスキャンプに協力しています。

今年度の臨床検査コースは、「血液細胞をみてみよう」と「血液型検査をやってみよう」を実施しました。

将来的な科学発展に寄与する活動を目指しています。



## 公開講座「健やかに生きよう」

平成27年11月13日(金)

今年度第2回公開講座が、本学にて開催されました。

講座は、三浦浩美講師による「子育て情報今昔～子どものために大切なこと～」と、行正信康准教授による「わたしたちのからだを病原体から守るしくみ」の2講座で、雨天候の中、地域の33名の方が受講されました。

「初乳は、無理をしても与えるべきか?」とか「癌治療に免疫は使えるのか?」などの活発な質疑がされ、好評のうちに終了致しました。

平成28年度も8月と11月に開催予定です。大学ホームページや県広報誌でご案内致しますので、是非、ご参加下さい。



## キャリア支援における臨床検査学科在学生と卒業生の交流会

平成28年2月26日(金)

臨床検査学科 准教授 多田 達史

国家試験や進路の準備と対策を考える機会とするために、卒業生や先輩から在学生がアドバイスを得る機会とし、在学生と卒業生の交流会を開催しました。

4年生からは国家試験対策、就職活動・進学準備など、卒業生からは就職に関する心構え、現在の仕事内容についてなど、在学生の今後役に立つアドバイスを頂きました。

講演の後には自由に質問ができる時間を設け、非常に有意義な交流会になりました。



## Introduction 新任紹介



西岡 久美子  
看護学科准教授  
専門分野  
成人看護学

慢性疾患と共に生きる方がよりよく生きることを支えるための看護、そして自分の在り方を問い続けています。

少しずつになりますが、還元できるよう努めていきたいと思ひます。

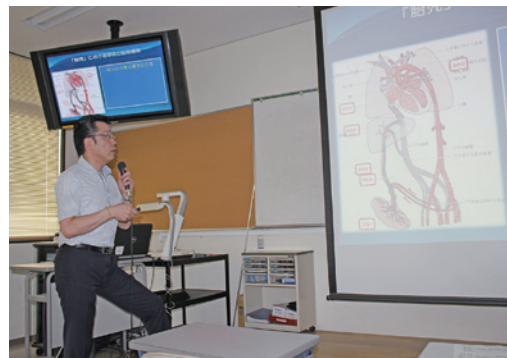
## 教育講演会

### 「臨床検査技師のキャリアアップについて学ぶ」

平成27年7月28日(火)

講師

純真学園大学 松田 洋和先生



純真学園大学 松田洋和先生と本学大学院の先輩方の話を聞いて、臨床検査技師のキャリアアップの大切さと臨床検査技師の可能性を学びました。

先輩方の研究はどれも興味深いものであり、松田洋和先生は臨床検査技師が初めて法医学に関わった先生で、飲水の内容物の話、検体量が少ないので1回で検査を完了しなければならず、責任重大であったことなど、自身の体験を面白おかしく、また、真剣に話してくださいました。

とても興味深い話で勉強になりました。 臨床検査学科 3年 藤原 知輝

### 「米国におけるウィメンズヘルスNPとしての活動について」

平成27年12月21日(月)

講師

ピッツバーグ大学 儀宝由希子先生

Women's Health Nurse Practitioner という  
仕事と私の歩んでいる道  
University of Pittsburgh Student Health Service



今回講義を受けた儀宝さんは、現在米国の大学で働くウィメンズヘルスNP(WHNP)で、生殖及び婦人科的な健康問題に重点をおいた活動をしている。

WHNPの業務には、我が国では認められていない病気の早期発見や予防などの診療行為や、避妊カウンセリングや性暴力の予防活動などがある。

具体的な活動内容を聞き、膨大な知識や技術は必要であるが、海外には多様な活躍の場があることを知り、助産師としての自分の将来にまたひとつの選択肢が増えたと思う。

助産学専攻科 木村優里

### 「周りの人の能力を引き出すには-コーチングについて-」

平成28年2月23日(火)

講師

高知医療再生機構 倉本 秋先生



高知医療再生機構 倉本秋先生による「周りの人の能力を引き出すには-コーチングについて-」の話を聞かせて頂きました。将来看護職者として働きはじめたときに、医療職者同士の能力であったり、対象者さんの能力であったりと様々な場面で、「人の能力を引き出す力」というのは重要な力であると感じました。今回話して下さったことをこれからの人との関わりの中で活かしていきたいです。

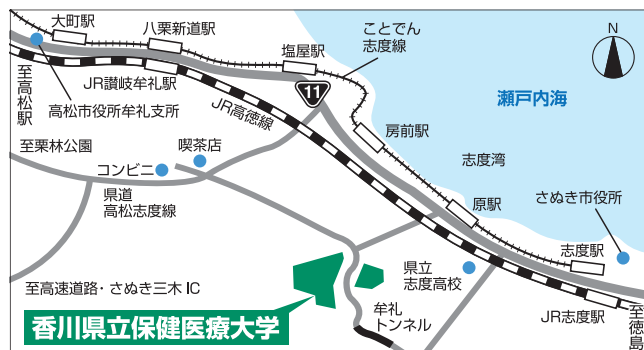
看護学科 3年 三木 彩花

### ●お知らせ

- ◆ 入学式 4月4日(月)
- ◆ オープンキャンパス 7月下旬予定
- ◆ 公開講座 8月下旬・11月中旬予定
- ◆ 橄欖祭(大学祭) 10月下旬予定
- ◆ いきいき健康広場 年3回予定

 **香川県立保健医療大学**  
KAGAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281-1  
Tel:087-870-1212 Fax:087-870-1202  
E-mail: hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp  
http://www.kagawa-puhs.ac.jp



#### ◆学校への経路

- 【西方面から】高松から車で30分  
ことடன்志度線・原駅下車徒歩10分  
高松東ICより車で10分
- 【東方面から】JR高徳線・JR志度駅から車で5分  
志度IC(または、さぬき三木IC)より車で10分

タイトルのHANDsは“高い専門的医療技術により、尊い生命を支える人間愛に溢れた温かい手”を意味しています。